

まちを歩く

人権の
かおりを求めて

第5回

大阪市浪速区芦原橋駅周辺 人権・太鼓ロード



芦原橋駅構内には実際の太鼓をはじめ、太鼓をアレンジした案内板が配置されている。駅北口からは太鼓店の看板が目立つ。駅前のバス停では、バスの接近案内音に太鼓の音を取り入れたり、ベンチや屋根が太鼓型になっているなど、まち



牧田 清氏撮影

の玄関口で「太鼓のまち」であることをイメージさせる。

太鼓の産地として300年の歴史を持ち、全国でも有数の皮革集散地である大阪市浪速区。その一角で人権文化発信のまちづくりが進められている。

その中心となっているのが「人権・太鼓ロード」で、「浪速」地域の歴史を正しく伝え、文化に誇りを持ち、人権文化として、発信していこうという試みで、行政や人権関係団体等で構成される「人権・太鼓ロード建設計画策定委員会」が案を作成。

現在、芦原橋駅から日本初の人権博物館である「リバティおおさか」までの新たなわ筋周辺の約500メートルを太鼓にかかわる案内板やモニュメントが設置された10ヵ所のゾーンとして、2004年7月中の完成を目指し整備が進められている。

同策定委員会事務局長の浅居明彦さんは「地域がブレイクするには二つの要素が必要だと考えています。一つは食で、もう一つは芸術文化です。この地域はその二つをかねそなえており、芸術文化で言えば「太鼓」で、食文化で言えば「油かす、さいぼし、こごり」があります。『太鼓ロード』をきっかけに、たくさんの人々が訪れて、豊かな交流や関係づくりが始まれば…」と期待を寄せている。

そうぞう

12

2004.6*No.9

編集 後記



●…本誌「そうぞう」も3年目に突入です。「活動が目されるようになりました。講演などの数多くの依頼が増えました。」…など、取材させていただいたり、ご寄稿いただいた方々の声、「講演会の企画づくりに役立ちました」「フィールドワークの参考になりました」…など、府民のみなさんの声、多くの反響が寄せられています。「人権が尊重される社会づくり」の一助になることを願って創刊された本誌の目的が少しずつ具現化されているような手応えを感じています。

●…多くの府民のみなさんの貴重なご意見を参考に今号から少し誌面構成を変えてみました。ご感想は…。

大阪府や大阪府教育委員会などでは、毎年、人権啓発詩・読書感想文の募集をおこなっています。昨年度は詩の部門562点、読書感想文の部門818点、合計1380点の応募がありました。そのうちの入選作品26点のなかからご紹介いたします。

けいこちゃんがきた

泉南市 小学一年生(当時)
たなかまさき
田中優輝

ペルーから けいこちゃんが
ぼくの がっこうへ きました
ぼくは うれしかったです
よかったです おもいました
けれど
ぼくは スペインごが しゃべれません
けいこちゃんは
にほんごが しゃべれないと きいたので
ちょっと しばいです